

泉区少年野球連盟ジュニア教育リーグ戦大会規定

1. 試合実行に関する統制は、対戦チーム同士で協議運営する。
2. 試合結果については、勝ちチームが必ずとりまとめて事務局長に連絡すること。
3. ベンチはリーグ戦組合せ番号の若い番号のチームを一塁側とする。
4. 試合球は、C球公認球（指定球）を使用する。
5. リーグ戦は、各チーム試合に先立ち、打順表3部及び試合球2球を担当審判員に提出する。
6. 決勝トーナメント戦の試合球は連盟が準備する。
7. 投手・本塁間の距離は14m、塁間距離は21mとする。
8. 攻守に関係なくファールボールは、各ベンチで速やかに処理して球審に渡すこと。
9. 試合中、大会規程に定めた者以外の父兄はベンチに入る事ができない。
10. 試合は5回戦とし、試合時間は1時間20分とする。
11. 1時間20分を経過し、または1時間20分以内であっても5回戦が終了して同点の場合は、直ちに特別延長戦を1イニング行い、勝敗が決定しない場合は、抽選で勝敗を決する。
注：大会運営上特別延長戦を行わず、直ちに抽選で勝敗を決する場合もある。
12. 得点差によるコールドゲームは、3回以降13点差以上とする。但し、決勝戦では得点差によるコールドゲームを採用しない。
13. 相手チームを誹謗したりやじったりしてはならない。
14. 投手の準備投球は初回及び救援投手は6球以内とし、次回より3球以内とする。
15. 抗議は、監督と当該プレーヤーに限り許される。
16. 攻守交代は、駆け足を心がけること。
17. 審判は、1試合の場合は当該チーム同士で行う。2試合以上の場合は、交代で審判を担当する。
18. 選手の危険防止及び健康管理には、各チーム責任者が十分留意し、本大会の事故に対して連盟は一切関知しない（スポーツ保険未加入者は出場不可）。
19. 攻撃側の打者・次打者・走者・ランナーコーチは、必ずヘルメットを着用すること。
20. 捕手は連盟公認のマスク・ヘルメット・プロテクター・レガード・スロートガードを使用すること。また、ファウルカップを使用するように指導すること。
21. 選手及び応援団は審判員の裁定や相手チームに対する悪口及び暴言を吐いてはならない。もし、このような行為が試合の運営を妨げると認められた場合は審判員により当該者を退場させることがある。
22. 退場者へのペナルティ
連盟主催の大会へのベンチ入りを1年間停止する。但し、役員会で協議の上短縮することもある。
23. 試合開始前の球場内での練習（キャッチボール、ノック、素振り、トスバッティング等）を行っても良い。
注：試合前の練習では、安全に十分配慮し、必ず監督又はコーチのもとで行うこと。また、監督、コーチは事故の無いように、必ず球場内・外で管理することをお願いします。
24. 次の試合の投球練習は、5回以降又は試合終了予定の30分前からとする。なお、バッテリは1組とし、監督又はコーチを1名配置すること。
25. シートノックは各試合毎に行う。（内、外野2ヶ所でのノックを認める。）ただし、大会運営上、試合前のシートノックを中止する場合がある。
26. 上記以外の事項は「公認野球規則」「競技者必携」及び「泉区少年野球連盟大会規定」に基づき運用する

付記

この大会規定は平成20年2月17日より適用する。

この大会規定は平成21年4月1日より適用する。

この大会規定は平成23年3月6日より適用する。

この大会規定は平成26年3月2日より適用する。